

仕 様 書

1. 品 名 高速液体クロマトグラフ

(参考機種)

- ・島津製作所 高速液体クロマトグラフ Prominence
(内訳 送液ユニット LC-20AD×3、グラジエントミキサ×1、
脱気ユニット DGU-20A5R×1、オートサンプラ SIL-20A×1、
カラム恒温槽 CTO-20A×1、UV-VIS 検出器 SPD-20AV×1、
蛍光検出器 RF-20A×1、示差屈折率検出器 RID-20A×1、システム
コントローラ CBM-20A×1、A/D ボード PC-55N×1、LC ワークステ
ーション PC セット Single LC×1、ポストカラム用反応管・コイ
ル S228-21747-91×1)

※参考機種のほか、3の基本的仕様を満たしているもの

2. 数 量 1 式

3. 基本的仕様

- ① 送液ポンプ 2 台以上で構成される高圧混合送液システムに加え、ポストカラム反応のための送液ポンプ 1 台を備え、ポンプの最大使用圧力が 40MPa 以上であること。
- ② 脱気装置を持ち、4 流路以上の溶離液を個別に脱気できること。
- ③ オートサンプラーを持ち、1.5mL バイアル 100 本以上に対応すること。
- ④ カラムオーブンを持ち、空気循環式で室温+10~85°Cの範囲を温度制御が可能で、⑤のポストカラム反応管・コイルを収納できる収納室寸を有すること。
- ⑤ ポストカラム反応管・コイルを持つこと。
- ⑥ 紫外可視吸光度検出器を持ち、190~900nm までの分析が可能であること。
- ⑦ 蛍光検出器を持ち、キセノンランプ光源による 200~650nm の励起、蛍光波長を選択できること。
- ⑧ 示差屈折率検出器を持ち、1~1.75RIU の屈折率範囲を持ちノイズレベルが 2.5×10^{-9} RIU 以下であること。
- ⑨ 専用のソフトウェアによりそれぞれの機器を統合して制御するシステムを持ち、自動アナログ入力が可能であること。

4. 納入場所

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター
共同研究棟 5 階 研究室 No. 523

5. 納入期限

令和 2 年 1 1 月 3 0 日

6. その他

- (1) 納入日、納入方法等の詳細については、担当職員と打合わせのうえ実施すること。
- (2) 機器の搬入、据付完了後、試運転、性能試験を行うこと。
- (3) 納入・設置に際し、在来部分を汚損した場合は、在来に倣い補修すること。
- (4) 納品の際は、検査職員の検査を受けること。
- (5) 修繕の費用については、使用者の故意又は重過失によるものを除き、納入後1年間無償とすること。
- (6) その他、業務中に疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ業務を完了させること。